



# 「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町26-9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)

URL：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

\*農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

## 金谷農場

### ◆農場長より(高橋寿徳)

『3年生のみなさん卒業おめでとう』

卒業すると一層大曲農業高校の偉大さを痛感するはずですが、何より先輩方が後輩を本当によく面倒を見てくれ支えになってくれるのです。また、県内外のリーダーとして活躍されている方が数多くいらっしゃいます。

これからもずーっと大農卒業生としての自覚と誇りを持ち続けてください。そして、後輩の面倒も見てください。ガンバレ！

各科、各学年の課題研究発表会（プロジェクト発表会）や農業科学基礎研究発表会が終了しました。現代社会の中で農業問題が山積している中でも農業は注目を浴びています。今回の発表会で「高校生の若い発想」「創造力」に感動しました。この発表会を来年度は「農業者集い」として地域の皆さんに見てもらいたいと思います。農業問題を解決できる糸口が必ず見つかるはずですが、地域とともに歩みたいものです。

### ◆施設野菜部門より(平塚・高橋恵)

春はいずこ？と嘆きたくなる野菜部門です。

キュウリの播種が終わり、先日接ぎ木を行いました。キュウリはそのまま定植するとつる割れ病などの土壌伝染病に感染してしまいやすいので、根の部分をカボチャと入れ替えて栽培します。(知ってました？)

カボチャもキュウリもウリ科。同じ種類ならくっつけることができます！植物って不思議ですね。

### ◆露地野菜部門より(佐藤文・柏木・佐々木鶴)

露地野菜では、来年度又は、3月の育苗開始に向けて計画案を作成中です。(作付け計画図面、種子の選定など) 今年も皆様によりよい野菜を購入していただけますように、頑張りたいと思っています。

### ◆果樹部門より(藤井・工藤)

雪の中から枝を掘り上げる作業と剪定作業を同時進行で進めています。消雪が早ければ剪定作業も捗るのですが…まだ先のようですね。

この冬は野ウサギによる花芽の被害が例年になく多く見られ、着果数が減るのではないかと心配しています。ウサギが届く範囲のリンゴの芽は、かなりの割合で食べられています。野山にはもっと美味しいものもありそうな気がしますが、食料が不足しているのでしょうか？

### ◆花卉部門より(小松・山代)

今年の大雪には参ってしまっていますが、そんな中でもただ今、温室内はサイネリアが花盛りです。3月3日(土)の本校の卒業式を飾ることになるかと思えます。近くの保育園からもサイネリアについての問い合わせがきていますが大丈夫です。赤やピンク、青などたくさん咲いていますのでぜひ見に来て下さい。一足早く春の雰囲気味わうことができますよ。販売もしています。

そしてこれからいよいよ春の花壇苗づくりが忙しくなってきます。外はまだ真っ白ですが春の訪れもうすぐですね。

## ◆食品加工部門より(伊藤寿・瀬田川)

### めんの食感

機械で打ったうどんより、手打ちうどんのほうが“こしが強い”といわれます。うどんの生地内部を比較すると、機械製めんの生地のグルテン組織は、上下に走っています。一方手打ちめんではさまざまな方向から力を加えてこねるため、一定の方向性を持っていません。うどんの食感には、生地のデンプンとそれをつつむグルテンの複雑な組織が関係しています。このような組織の複雑性が、ゆで上げ後のめんの内部と、周辺部におけるデンプンの $\alpha$ 化状態などに影響し、微妙な食感の差が生じると考えられます。

2月23日(木)に大曲養護学校との交流及び共同学習で、「本格手打ちうどん」を作ります。本校加工室にはのぼし棒は3本だけですが、工夫を凝らし、食品加工部員が特色のあるうどん作りをお教えます。

## ◆生物工学部門より(坂本寿・大沼・齊藤・佐藤潤)

北東北の農業高校生による地球温暖化防止活動、「あぐりていーんねつと」の報告会が2月15日に青森県で開催されました。本校からは2名の生徒が参加し、本校で実施している農産物の生産・販売実習により、年間44万トンの二酸化炭素(温室効果ガス)の排出を抑制していることを報告しました。また、青森県の農業高校生とともにワークショップに参加して、地球温暖化防止のために自分たちが解決しなければならない課題について話し合いと発表を行いました。ワークショップで積極的に議論して、発表している姿はとても素晴らしいものでした。



## 大嶋農場

### ◆大家畜部門より(芳賀、黒田)

寒さもだいぶ和らぎ、3頭のウシたちも元気に過ごしています。3頭のウシたちはいずれも妊娠中で、4月下旬、5月上旬、7月に出産を予定しています。元気な子牛を無事に産んでくれることを期待しています。

### ◆中家畜部門より(堀部、小林)

先月号で出産報告をして1ヶ月が過ぎますが、4頭から産まれた子豚達は寒さにも負けず順調に成長しています。2月17日に雄子豚の去勢を行い、離乳しました。先週、3頭の母豚に種付けを行いました。今回も無事受精してもらいたいですね。妊娠していれば、6月18日頃に今年2度目の分娩が来ることになります。

来年度は、計画繁殖で、にぎやか豚舎となるように、今後もよろしくお願ひします。

### ◆小家畜部門より(田口健一、富樫)

2月16日に、33羽の比内地鶏のひなが卵からかえりました。現在、順調に成長しています。ひなたちのかわいい姿を見たい、元気な鳴き声を聞きたいという方は、ぜひ、大嶋農場に足を運んでください。



### ◆作物部門より(佐々木孝・高橋寿・佐々木周)

気に寒さが緩み、春が到来したかのような陽気です。奥羽山脈の山々、清々しい気持ちになります。今年も降りました。道路から排雪されたこの雪の量!